

【青木小グランドデザイン】

あおきっ子 育ちの木 イメージ

学校教育目標

あかるい子 ~人を大切にする力~

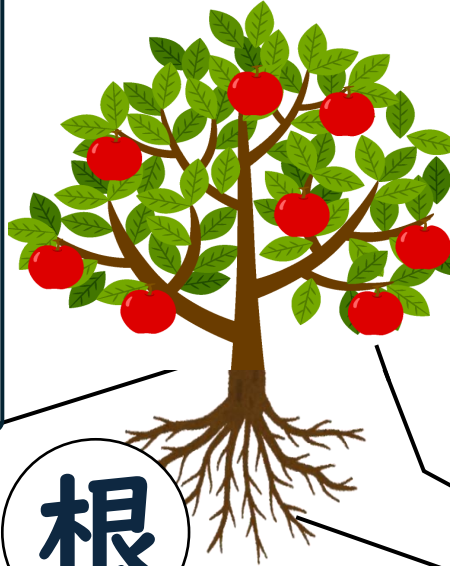
人のことでも自分のことのように感じることのできる子。色々な場面であいさつができる子。

かしこい子 ~学び続ける力~

自ら興味深く学び、友と関わりながら主体的に考え、生涯にわたり生きて働く学力を有する子。

たくましい子 ~チャレンジする力~

失敗を恐れず、継続して様々なことに取り組む子。多様な他者とのかかわりをつくらうとする子。



青木村の教育5つの重点項目と主な教育活動

青木村の教育5つの重点項目	主な教育活動
①保小中一貫教育	○保小中間の移行支援会議 ○保小中一貫教育委員会 ○情報モラルへの対応 ○生き方探究
②多様な他者や自然とかかわり	○各学級発「学級ならではの核活動の充実」 ○村教委主催「通学合宿」「長泉交流」 ○キャリア教育「全校：おしごとゼミ」「5年：稲作体験」
③学力・体力の向上	○「学び合い」を軸とした授業実践及び研修 ○授業ミーティング ○ICTの有効的な活用 ○青木っ子チャレンジ（マラソン、大縄・短跳大会）
④子どもと向き合う時間の確保	○ゆとりある日課（マンデー5・水曜清掃なし） ○相談週間（学期に一度）の実施 ○終礼の実施 ○会議の精選及び効率化
⑤一人ひとりを大切にす教育	○インクルーシブ教育の充実 ○児童理解、生徒指導の時間の確保、共有 ○人権教育・道徳教育の充実 ○丁寧な支援会議の実施

幹

を太くしよう

☆教科学習 × 中核活動☆

【教科学習】⇒見える学力

「学習問題（ねらい）」「学習課題（見通し、鍵）」「まとめ（振り返り）」を必ず位置づけ何をどう学ぶかを明確にし、何が分かったのかを子どもの言葉でまとめる授業づくり。

【中核活動】⇒見えない学力

核となる活動を軸に、子どもの「素朴な問い」「やってみよう」を大切に、自分の考えをもち、表現できる子どもの育成。

「どうしたら解決できるのか」の問いを解決するため、教科学習で得た知識を活用し、思考錯誤を繰り返しながら粘り強く追究し、自分なりの解を導き出す力が磨かれていく。

根

を伸ばそう

重点目標

- 思い合いの根** 「あかるさ」
◇お互いを尊重
◇相手の思いを感じ取ろうとする
- 学び合いの根** 「かしこさ」
◇なぜ、どうしてから始まりとことん追究
◇対話を通して、お互いの考えの共有
- 関わり合いの根** 「たくましさ」
◇多様な他者と自らかかわろうとする
◇失敗を恐れず、くじけず挑戦し続ける
- 自らを振り返る根** 「ひとりだち」
◇今の自分、あの時の自分がどうだったのかと自らを問う
◇今日のわたしから明日のわたし

芽

から

蕾

に、そして

花

一人一人の強み（よさ、らしさ、得意など＝「芽」）を見つけ、芽から蕾、そして花開く。成長を促す2つの要素を大切にしたい。

<その1>肥沃な土（ひと）

子どもを見守り子どもに期待を寄せる地域の方
⇒地域とつながる、地域を巻き込む活動の実践
〔中核活動、クラブ、お仕事ゼミなど〕

<その2>清らかな水（愛情）と光（眼差し）

日々関わり、子どもと暮らしをつくる教師の眼差し
⇒3つの問いによる、省察的な振り返りの積み重ね

- ①「本当か」
- ②「どうしてか」
- ③「それでいいか」

実

を結ぶときは
人それぞれ・・・
今か、これからか

目指す授業

自ら問いを立て、友と協働しながら、「できた」と「わかった」が実感できる授業